

令和 7 年度 第 2 回総合教育会議

日 時：令和 7 年 8 月 3 日（日）午前 1 0 時

場 所：つちのこ保育園

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

（１）教育大綱の取組について

ア 「幼・保・小の架け橋プログラム」の実践

イ スクールライフサポートの充実

4 事業所 P R

【つちのこ保育園様】

5 閉会

令和7年度第2回

海老名市総合教育会議

令和7年8月3日（日）

@つちのこ保育園

協議事項

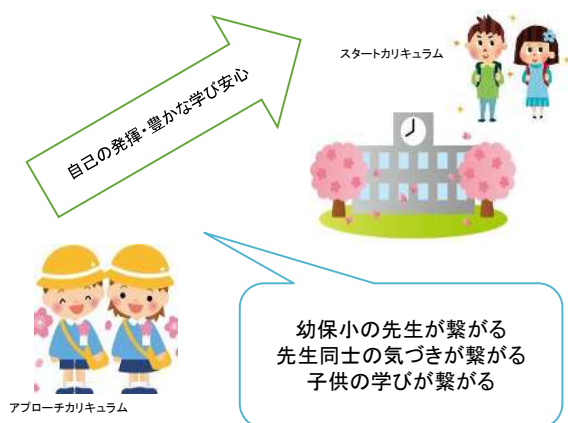
◆教育大綱の取組について

- 1 「幼・保・小の架け橋プログラム」の実践**
- 2 スクールライフサポートの充実**

協議事項 1

「幼・保・小の架け橋プログラム」 の実践

海老名市 幼保小の架け橋プログラム



教育支援課 指導係

幼保小の架け橋プログラム

「幼保小の架け橋プログラム」は、**子どもに関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働し、この時期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で**全ての子どもに学びや生活の基盤を育めるように**することをめざすもの**

文部科学省「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き」（初版）より



幼保小の接続（目標）

幼児期の成長が十分に引き継がれる
→小学校で、より成長できるようになる



幼児期

小学校

海老名市「幼保小の架け橋プログラム」を支える組織・会議体



架け橋プログラム推進協議会

地域の全関係機関の参画によるカリキュラムの開発、実施、評価、改善に向け、様々な立場から意見や事例を出し合って話し合うことをとおして、地域の実態を把握し、共通の視点をもって教育課程や指導計画等を具体化できるよう方向性の共有を図ります。



幼保小中連絡協議会

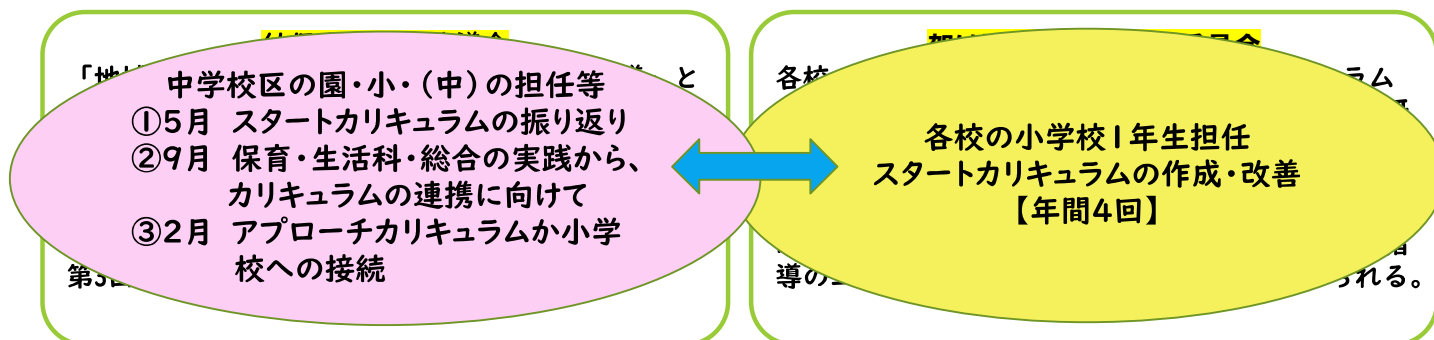
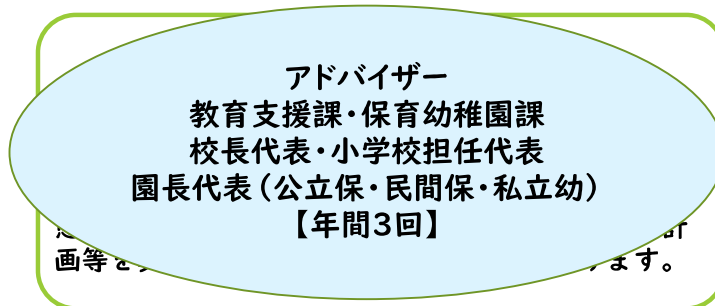
「地域ごとの架け橋期のカリキュラム開発会議」として、『幼保小中連絡協議会』を年3回実施。
（第1・3回は、幼保小の教員が集まって協議）

- 第1回：小学校の授業参観・協議（4・5月）
- 第2回：中学校を含む拡大協議会（8・9月）
- 第3回：保育所等の保育参観・協議（2月）

架け橋プログラム推進委員会

各校の1年生担任が集まり、スタートカリキュラムの作成、架け橋プログラムの理解・推進に向けた研修や協議・情報交換を行う。
スタートカリキュラムを児童や学校、地域の実情を踏まえて編成し、その中で、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うことが求められる。

海老名市「幼保小の架け橋プログラム」を支える組織・会議体



海老名市の「架け橋プログラム」開発に向けた進め方のイメージ（概要）

フェーズ1（R5）

- ・方針決定に向けて
- ・接続を見通した土台づくり
- ・スタートカリキュラム作成、連携強化

フェーズ2（R6）

- ・方針の検討
- ・接続を見通した教育課程の編成
- ・接続に向けた支援

フェーズ2（R7）

- ・方針の決定・周知
- ・架け橋期カリキュラムの検討
- ・幼保小の協働実施の支援

フェーズ3（R8）

- ・持続的、発展的な連携へ
- ・架け橋カリキュラムの実施、検証
- ・持続的、発展的な取組を支える支援

海老名市の「架け橋プログラム」開発に向けた進め方のイメージ（概要）

○小学校の「スタートカリキュラム」を全校で試行。
○幼保小連絡協議会を年1回から年3回へ。第3回は、園で開催。

○保育幼稚園課と連携し、推進協議会の立ち上げ。
○スタートカリキュラムの充実。
○連絡協議会を核とした連携推進。

フェーズ2
○海老名市「架け橋プログラム」の考え方・実施方法の確定・周知
○園・小の“カリキュラム”をもとにした「接続」の推進。

フェーズ3（R8）

- ・持続的、発展的な連携へ
- ・架け橋カリキュラムの実施、検証
- ・持続的、発展的な取組を支える支援

安心して自分らしく過ごせる
学校へ

カリキュラムの接続へ

こども同士の交流

園・小の連携へ



保育・幼稚園課との連携

合同での先進市視察

- 保育の質の向上へ 5領域を意識したカリキュラムの見直し
- 子どもの思いや願いの実現に向けた授業へ
生活科を核としたカリキュラムの見直し



安心して自分らしく過ごせる学校へ



園・小でともに
カリキュラムの充実・接続に
向けた取組を行っていきます。

ご清聴ありがとうございました

(参考) 保育園における市費単独補助金の状況

(千円)

補助事業	補助単価	R5実績	R6実績	R7予算
保育士処遇改善費	保育士1人当たり 月額17,000円	56,832	58,152	102,901
障がい児受入れ加配経費	対象児童1人当たり 月額60,000円～75,000円	63,090	65,715	61,650
児童処遇改善費	対象児童1人当たり 月額3,500円(5歳) ～22,000(0歳)	311,938	320,380	333,031
開所時間延長促進費	1施設当たり 年額500,000円 ～2,000,000円	15,000	16,000	20,000
配置基準を超えた保育士配置費	1施設当たり 年額500,000円	12,500	13,000	15,000
A E Dの設置・更新経費	一機あたり 300,000円 ～360,000円	-	1,943	2,640
合計		459,360	475,190	535,222

R7より補助を拡充

- ・月額12,000円→17,000円に増額
- ・補助対象園に小規模保育施設を追加

協議事項 2

スクールライフサポート の充実

「スクールライフ サポートの充実」 について



就学支援課就学支援係



スクールライフサポート事業について

経済的な理由により就学困難な海老名市立小中学校の児童生徒に
学校生活に必要な費用の一部を援助

★ 認定条件

(1) 次のいずれかに該当する世帯（生活保護世帯を除く）

- ① 市民税が減免されている
- ② 国民年金保険料や国民健康保険税が減免（徴収猶予）されている
- ③ 児童扶養手当の支給を受けている

等



(2) 収入が少なく、お子さんを就学させることが経済的に困難

生活保護基準の1.4倍以下(世帯構成や持家の有無等によって基準額算出)

🌿 スクールライフサポートの支給費目 🌿

	支給費目	小学校		中学校	
①	学用品費	1、2、4年	330～2,330円	全学年	5,430～9,430円
②	通学用品費	2～6年	2,270円	2、3年	2,270円
③	新入学児童生徒学用品等費	1年	57,060円	1年	64,800円
④	校外活動費（宿泊無）	全学年	1,600円	全学年	2,310円
⑤	校外活動費（宿泊有）	全学年	3,690円	全学年	6,210円
⑥	修学旅行費	6年	22,690円	3年	60,910円
⑦	通学費（定期券代）	実費（上限40,020円）		実費（上限80,880円）	
⑧	学校給食費	実費		実費	
⑨	オンライン学習通信費	年間11,880円（月額990円）		年間11,880円（月額990円）	

※中学校は多くの場合2年時に修学旅行費の積み立てを行う。

スクールライフサポート認定者は積み立てが終わる2年生時の3月に市から旅行会社に支払うため、積み立て不要

学年別支給総額

	小学校	中学校
1年生	121,370円	143,820円
2年生	67,580円	91,500円
3年生	65,250円	145,200円
4年生	65,580円	
5年生	68,940円	
6年生	87,940円	

支給費目の概要

① 学用品費

日常の学習に必要な筆記用具やノート等の文房具、各教科等の学習に必要な物品

② 通学用品費

洋服や靴、カバンなど通学に必要な物品



③ 新入学児童生徒学用品等費

ランドセルや制服のほか、学用品や通学用品を新調するための費用

入学前に必要なことから、前年度の1月に支給を決定

- ④ 校外活動（宿泊無）
日帰り遠足の費用
- ⑤ 校外活動（宿泊有）
小学5年生、中学1年生で実施する野外活動の費用
- ⑥ 修学旅行費
小学6年生、中学3年生で実施する修学旅行の費用
- ⑦ 通学費（定期券代）
通学に必要な交通機関の定期代（私立対象）
- ⑧ 学校給食費
公費負担を除いた保護者が負担する学校給食にかかる費用
- ⑨ オンライン学習通信費
市が貸与する海老名市教育用Wi-Fiルーターの利用料



スクールライフサポートの利用状況

年 度	児童生徒数	申請者数	認定者数	認定率
令和3年度	10,524	1,031	956	9.08%
令和4年度	10,487	984	939	8.95%
令和5年度	10,495	1,046	1,000	9.53%
令和6年度	10,511	1,053	991	9.43%

※認定率は児童生徒数に対する認定者数の割合
認定率は概ね9%前後で推移

スクールライフサポートの支出の状況

決算額の推移

(円)

年 度	小学校	中学校	合計額
令和 4 年度	43,096,746	29,807,537	72,904,283
令和 5 年度	45,348,837	32,357,962	77,706,799
令和 6 年度	38,023,906	38,020,226	76,044,132

(令和 6 年度は見込)

(参考) 令和 7 年度予算額

(円)

年 度	小学校	中学校	合計額
令和 7 年度	46,333,000	46,527,000	92,860,000

令和 7 年度海老名市の保護者負担軽減の取組

事業名	事業費 (千円)
児童用ヘルメット (タタメット配備)	1, 2 5 0
教材費無償化事業 (市立)	1 5 4, 0 1 8
教材費無償化補助金 (私立)	5, 6 0 5
スクールライフサポート事業	9 2, 8 6 0
彫刻刀配置	1 1 0
柔道着クリーニング	4 4 6
学校災害見舞金支給事業	6, 0 0 0
中学 3 年生インフルエンザ予防接種補助	3, 6 2 4
小・中学生給食食材費 (物価高騰分)	8 2, 8 2 0
小・中学生給食食材費 (地産地消分)	1 0, 6 2 0
野外教育活動補助金 (小 5)	1 8, 2 1 3
修学旅行保護者負担軽減補助金 (小 6・中 3)	2 9, 2 1 5
キャッシュレス化促進補助金	2, 8 3 9

事業名	事業費（千円）
部活動充実支援交付金	7, 6 5 4
部活動大会派遣補助金	1, 9 0 0
部活動地域活動報償金	6 2 1
特別支援教育就学奨励費	9, 1 5 0
肢体不自由級通学支援（タクシーチケット）	6 1 2
特別支援教育校外学習活動推進事業補助金	1, 0 5 0
学童保育保護者支援補助金（上限 1 5, 0 0 0 円／月）	3 5, 0 6 7
フリースクール利用児童生徒支援補助金	4, 5 0 0
合計	4 6 8, 1 7 4

説明は以上です

ありがとうございました